

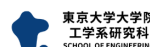
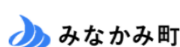
## 群馬県みなかみ町に公民学連携拠点「UDCみなかみ」が誕生 ネイチャーポジティブなまちづくりの拠点として始動

株式会社オープンハウスグループ（本社 東京都千代田区、代表取締役社長 福岡 良介、以下「当社」）は、群馬県みなかみ町、群馬銀行、東京大学大学院工学系研究科（以下「東京大学」）と共に、公民学連携によるまちづくり拠点「アーバンデザインセンター（UDC）みなかみ」を、2026年4月に上毛高原駅前に開設いたしました。

UDCみなかみは、2021年より取り組んでいる水上温泉街再生プロジェクトとコアメンバーを同じくし、公民学が連携することで持続的にまちをデザインし、ネイチャーポジティブ型のまちづくりの事業モデルとなるべく、上毛高原駅前エリアの再編と自然再興を進めてまいります。発足に伴い2026年5月8日（金）に実施されたオープニングセレモニーでは、阿部 賢一みなかみ町長をはじめ約100名が参加し、テープカットや今後の展望のご紹介とともに、UDCみなかみにある上毛高原駅前の模型をお披露目いたしました。

UDCみなかみ HP：<https://udc-minakami.com/>

### 群馬県みなかみ町に公民学連携拠点「UDCみなかみ」が誕生 ネイチャーポジティブなまちづくりの拠点として始動



当社、みなかみ町、群馬銀行、東京大学大学院工学系研究科は、2021年9月に締結した「産官学金包括連携協定」に基づき、温泉街の中心部に位置する、廃業した大規模旅館「旧一葉亭」の再生を中心とした、温泉街を再び活性化させるプロジェクトを4者連携で進めており、「UDCみなかみ」は、みなかみ町の玄関口である「上毛高原駅前」のまちづくりの拠点として開設いたしました。

当社は引き続き産官学金を中心とした「地域共創による課題解決」を通じて、「地域の活力向上に積極的に貢献」してまいります。

### UDCみなかみについて

アーバンデザインセンター（UDC）みなかみは、流域面積日本一、首都圏の水瓶でもある利根川の源流に位置する群馬県みなかみ町の上毛高原駅前に、地域の自然・文化・資源を最大限に生かし、公民学が連携して地域の持続的なまちづくりを推進するハブ拠点として2026年4月に発足しました。北関東エリアでのUDC設立は初めてとなります。

都心からわずか約65分でアクセスできる上越新幹線上毛高原駅周辺は、水とともに旅する地域の玄関口として、高いポテンシャルを持っています。2017年にユネスコエコパークに登録され、国際的にも高く評価される豊かな自然環境をさらに育み、それらを存分に味わい体験できる多様なフィールドをさらに整えながら、人口減少時代の中山間観光地域のモデルとなる持続的な地域像を描き、実践いたします。

現在は、センター長の東京大学大学院工学系研究科 助教 永野 真義様、副センター長の当社サステナビリティ推進部 副部長 横瀬 寛隆・東京大学大学院工学系研究科 准教授 高取千佳様、ディレクター、アシスタントディレクターが中心となって、上毛高原駅周辺エリア未来ビジョンの素案作成を進めています。主に東京大学大学院都市デザイン研究室のメンバーによる調査結果やアイデアを踏まえながら、月に2回のペースで打ち合わせを続け、「上毛高原駅周辺ミライビジョン」の策定を進めており、その草案を今夏に公開する予定です。



## 水上温泉街再生プロジェクトについて

高度成長期からバブル期にかけて「関東の奥座敷」として隆盛した水上温泉は、個人旅行へとニーズが移行して以降、大型施設の宿泊客が大幅に減少し、ホテルや旅館の廃墟化が問題となっていました。

このような背景のもと、当社、みなかみ町、群馬銀行、東京大学大学院工学系研究科は、2021年9月に締結した「産官学金包括連携協定」に基づき、温泉街の中心部に位置する、廃業した大規模旅館「旧一葉亭」の再生を中心とした、温泉街を再び活性化させるプロジェクト（※1）を4者連携で進めています。

このプロジェクトの最大の特徴は、旧一葉亭を従来の「スクラップ＆ビルド」ではなく、「減築＆再生」という新しいアプローチで再生する点です。既存建物を取り壊さずに活かすことで、廃棄物および建設時のCO2排出量の削減が可能となる等、環境に配慮した取り組みとなっています。

2022年には再生建築研究所が既存建物の調査を実施する等、本プロジェクトに参画し、2023年にはみなかみ町が行う公募によりStapleが活用事業者として参画しました。現在は、産官学金で連携し、訪れる人々、風景との関係性、光や風の取り込み方、まちの在り方などを考察しながら、広場、大階段、ホテルなどを計画し、自然と調和した新しいまちづくりを追求しています。地域の課題を解決すると同時に、環境負荷を低減する次世代型の再生モデルを創り上げることで、みなかみ町の景観的・経済的活性化に貢献してまいります。

※1：みなかみ町は、温泉街再生の拠点となる「旧一葉亭」の対象施設を宿泊や飲食等の観光施設として活用する事業者を選定する公募を行いました。今後、旧一葉亭をリニューアルした上での運営を開始することを目指しています。当社グループはみなかみ町へ、2022年・2023年・2025年に、企業版ふるさと納税として計5億3千万円の寄附を行いました。この寄附は、「水上温泉街再生プロジェクト」など、みなかみ町が進める、町への新たな人の流れを生む取組に活用されています。



## 株式会社オープンハウスグループの地域共創事業について

オープンハウスグループは、「地域の活力向上に積極的に貢献し、街の元気を作ります」を事業展望の一つとして掲げ、地方公共団体をはじめとするさまざまなステークホルダーと協力しながら、地域が抱える課題を解決し、地域の資源や特長を生かし新たな価値を共に創造する「地域共創」事業に取り組んでいます。各地域が抱える課題と真摯に向き合い、地域を活性化させるための対策を講じることで、人の流れを作り、雇用を生み出し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

現在の主な取組：水上温泉街再生（産官学金連携）・OPEN HOUSE ARENA OTA（官民連携）・群馬クレインサンダーズ・群馬みなかみ ほうだいぎスキー/キャンプ場・KIRINAN BASE（桐生南高校跡地の利活用）・オープンハウスの森（森林保全活動）

地域共創プロジェクト：<https://kyoso.openhouse-group.co.jp/>

株式会社オープンハウスグループ Web サイト URL：<https://openhouse-group.co.jp/>

株式会社オープンハウス Web サイト URL：<https://oh.openhouse-group.com/>

## 企業概要

### 商号 株式会社オープンハウスグループ

本社所在地 〒100-7020 東京都千代田区丸の内 2-7-2 JPタワー20階（総合受付）・21階

創業 1997年 9月

代表者 代表取締役社長 福岡 良介

資本金 203億1,988万円

従業員数（連結） 6,495名（2026年3月末時点）

＜本件に関するメディア関係者様からのお問い合わせ＞

株式会社オープンハウスグループ 広報（由井）

TEL：03-6213-0783 MAIL：[pr@openhouse-group.com](mailto:pr@openhouse-group.com)